

2019年8月19日

金属産業新聞(3面)に掲載されました

岩崎選手が「文部科学大臣表彰」

日東精工 アジア大会で団体金

日東精工(株) (京都府綾部市、材木正己社長)の従業員で「第18回アジア競技大会」にパラグライディング競技に日本代表

選手として出場した岩崎拓夫氏が、競技で優秀な成績を残したことを評価され7月23日にホテルニユーオータニ(東京都千代田区)において文部科学大臣より表彰を受けた。

岩崎氏は、日本団体男子チームとして出場して金メダルを獲得していた(本紙既報)。表彰を受けて岩崎氏は「大変うれしく光栄に思います。賞を頂けたことが、これまで支援してくださった方々への恩返しとなれば幸いです。今後も挑戦していきま

す」とコメントしている。昨年8月18日から9月2日までインドネシア共和国ジャカルタ・バレンバンで開催された「第18回アジア競技大会」ではじめてパラグライディング競技が新設され、JHF(日本ハング・パラグライディング連盟)2017年度リーグチャンピオンに輝いた同社パラグライディング部の岩崎拓夫氏が男子チームの団体選手として選出。岩崎選手の出場に際し、材木社長はじめ会社を挙げて応援し、また、開催国であるインドネシアにおいては、日東精工グループの現地法人PT. NITTO ALAMINDONESIA (NAI社)の社員と家族が競技場で声援を送った。大会では強豪国が多いなか、クロスカントリー競技において、日本団体男子チームが見事金メダルを獲得。岩崎氏はこのチームの中心選手として活躍した。



岩崎氏(左)らパラグライディング団体選手と鈴木大地スポーツ庁長官(中央) 同大会においてパラグライディングのクロスカントリー競技におい

岩崎氏は、日本団体男子チームとして出場して金メダルを獲得していた(本紙既報)。表彰を受けて岩崎氏は「大変うれしく光栄に思います。賞を頂けたことが、これまで支援してくださった方々への恩返しとなれば幸いです。今後も挑戦していきま

す」とコメントしている。昨年8月18日から9月2日までインドネシア共和国ジャカルタ・バレンバンで開催された「第18回アジア競技大会」ではじめてパラグライディング競技が新設され、JHF(日本ハング・パラグライディング連盟)2017年度リーグチャンピオンに輝いた同社パラグライディング部の岩崎拓夫氏が男子チームの団体選手として選出。岩崎選手の出場に際し、材木社長はじめ会社を挙げて応援し、また、開催国であるインドネシアにおいては、日東精工グループの現地法人PT. NITTO ALAMINDONESIA (NAI社)の社員と家族が競技場で声援を送った。大会では強豪国が多いなか、クロスカントリー競技において、日本団体男子チームが見事金メダルを獲得。岩崎氏はこのチームの中心選手として活躍した。